

平成28年12月12日

国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所

身近な道路の危険から子供を守る ～生活道路対策の推進に向けた講演会など実施～

■お知らせ内容

静岡県では、日頃利用している生活道路を『歩行者と自動車が混在する道路』から『歩行者中心の安全な道路』にするため、「静岡県道路交通環境安全推進連絡会議」において、生活道路の危険性が特に高いエリアを選定し、交通事故の発生状況や現地点検などを踏まえ、必要な安全対策を検討しています。

今回、静岡県内の生活道路対策を円滑かつ効果的に推進していくため、「新時代を迎えた生活道路対策」と題して県内の自治体等を対象に生活道路対策の第一人者である埼玉大学大学院の久保田教授の講演会を実施いたします。

なお、本講演会に引き続き、生活道路対策エリアである「清水区入江地区」、及び事故ゼロプランの「昭府2丁目交差点」において、関係者による合同現地点検を実施予定です。

講演会・合同現地点検ともに取材可能ですが合同現地点検箇所へは各自でご移動ください。

◆日時：平成28年12月16日(金)13:00～14:30

合同現地点検：14:30～17:00(予定)

◆会場：レイアップ御幸町ビル 5階 C会議室 ※別紙参照

合同現地点検 ①生活道路対策エリア：静岡市清水区入江地区

②事故ゼロプラン： 静清バイパス昭府2丁目交差点

12月15日より31日まで「年末の交通安全県民運動」を実施中！

1. 配布資料

別紙1：講演会の案内

別紙2：合同現地点検対象箇所の案内及び概要

参考資料：生活道路対策の概要

2. 解禁日

指定なし

3. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

副 所 長 油井 康夫 電話：(054)250-8900/FAX：(054)252-5747

管理第二課長 杉崎 光広 電話：(054)250-8907/FAX：(054)250-8911

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

「新時代を迎えた生活道路対策」講演会

講師：埼玉大学大学院 久保田 尚 教授

レイアップ御幸町ビル 5階 C会議室 13時～14時30分

議事次第

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 開会の挨拶 | 10分 |
| 2. 講演「新時代を迎えた生活道路対策」 | 60分 |
| 3. 質疑応答 | 15分 |
| 4. 閉会の挨拶 | 5分 |

<講師プロフィール>

久保田 尚 埼玉大学大学院教授

【略歴】

1988年東京大学大学院工学系研究科都市工学博士課程修了。工学博士。同年より埼玉大学助手、同専任講師、助教授を経て、2005年より埼玉大学教授。

【研究内容】

交通まちづくりの提唱、商店街や住宅地の地区交通計画、観光地の交通問題、交通静穏化のための物理デバイス（ハンプ、ライジングボラード）、休日交通問題、TDM（交通需要マネジメント）、TDO（交通需要おもてなし）、交通主体の行動・心理と交通計画との関連、交通計画と住民参加、政策支援システムとしての交通シミュレーションシステムの利用、ITS（高度交通情報システム）に関する研究など

◆講演会会場



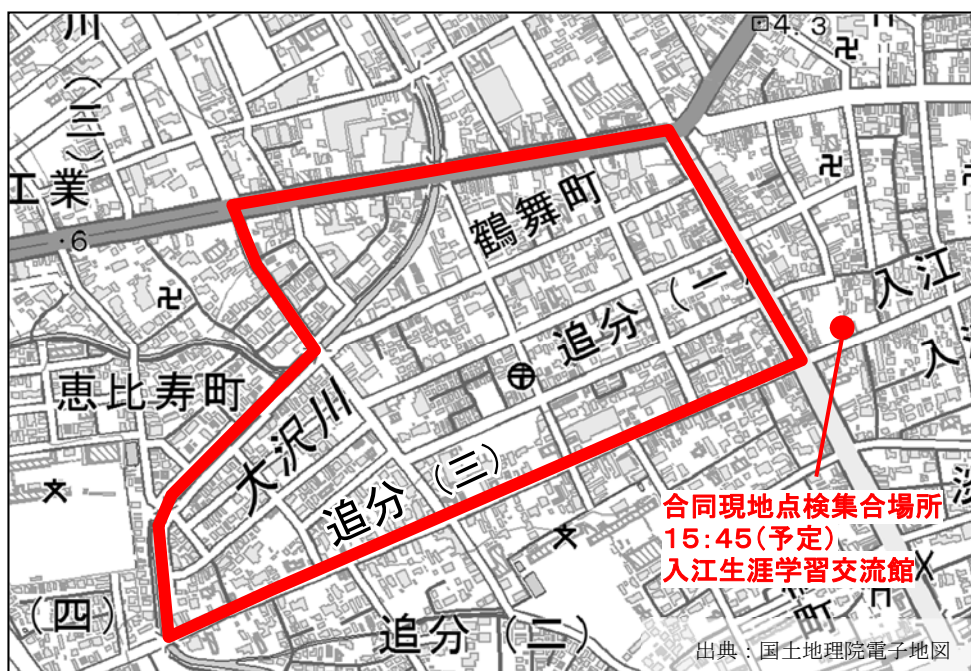
合同現地地点検対象箇所①

せいしん しょうぶ
 <静岡バイパス 昭府2丁目交差点>



合同現地地点検対象箇所②

いりえ
 <静岡市清水区入江地区>



【点検参加予定者】

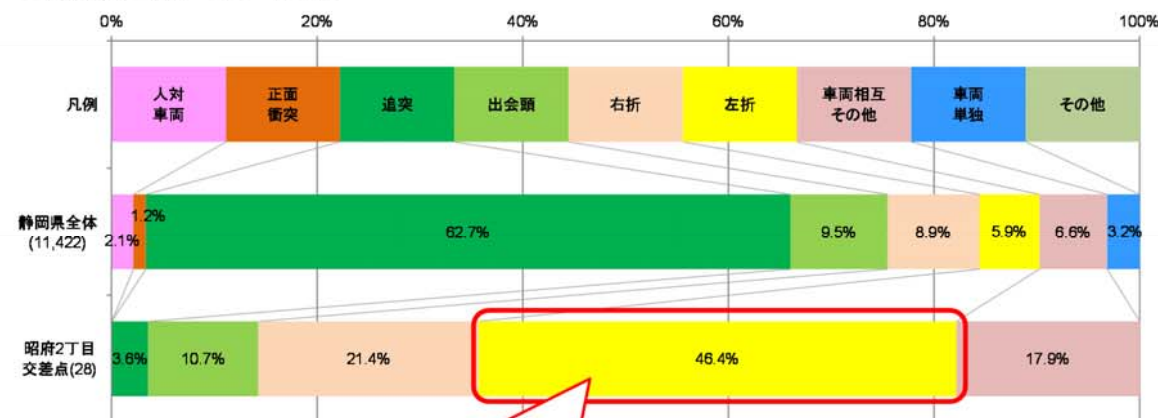
- ・ 埼玉大学 大学院 教授
- ・ 静岡県・静岡市・浜松市・静岡県警察・NEXCO 中日本
- ・ 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所
 浜松河川国道事務所
 静岡国道事務所 (敬称略・順不同)

集合場所窓口：静岡国道事務所 管理第二課 石上 いしがみ (TEL:054-250-8907)

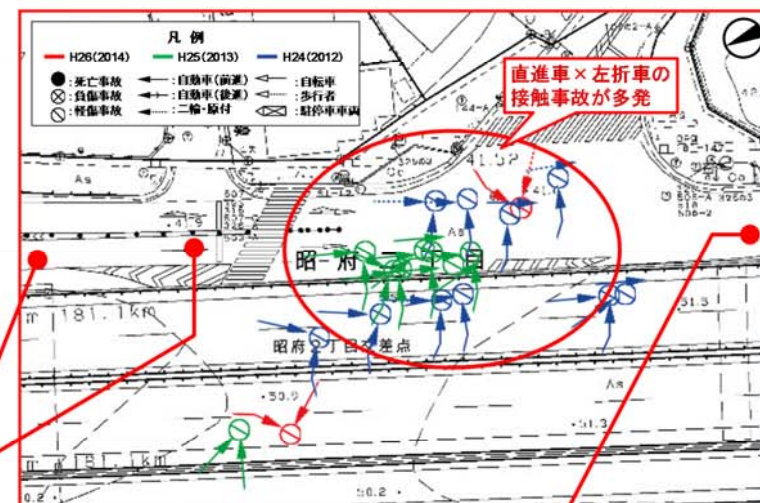
※講演会・合同現地地点検ともに取材可能ですが合同現地地点検箇所へは各自でご移動ください。

① 1 静清バイパス 昭府2丁目交差点の概要

●事故類型別(H23～H26)



直進車×左折車の接触事故が多発

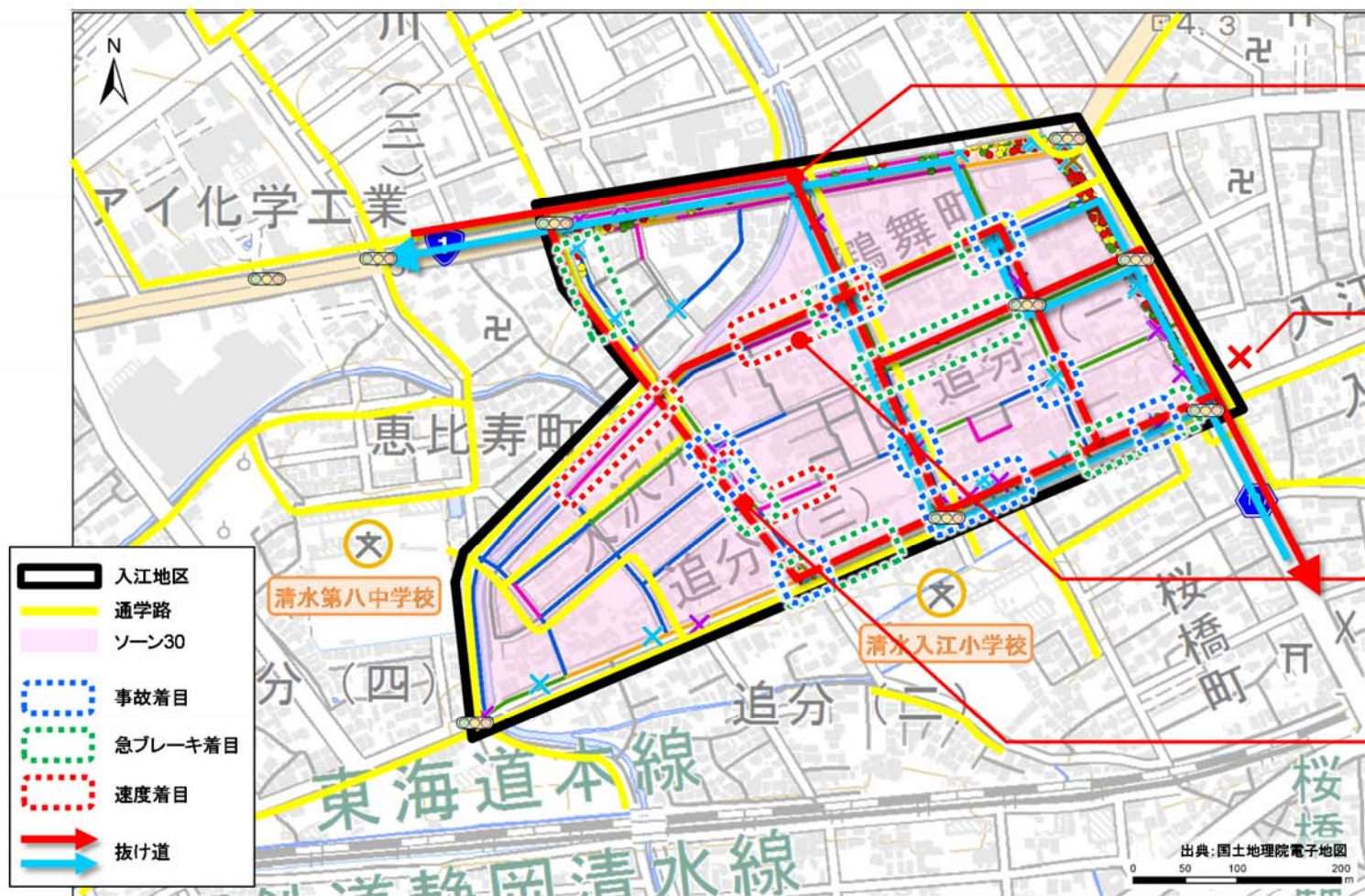


箇所	下り線流入部 (静清BP昭府IC下りオフランプ部)
状況	● オフランプから交差点で右折する車両が多く、右折車線を越えてランプまで延びて滞留するため、オフランプを走行してきた車両と衝突する。
現地点検のポイント	・オフランプから交差点で右折する車両の処理方法

箇所	下り線流入部 (静清BP昭府IC下りオフランプ部)
状況	● オフランプから交差点に進入する車両が信号現示を誤って解釈(左折不可でありながら直左矢印表示)し、左折したところに副道から直進してきた車両と衝突する。
現地点検のポイント	・信号現示の方法 ・オフランプおよび副道の交差点通過方法の表示方法 ・交差点における望ましい交通処理方法

箇所	下り線流出部～平和3丁目交差点間
状況	● 交差点通過後、右側から左側へ、左側から右側へ車線変更する車両の錯綜が頻発しており、衝突のリスクが高い。
現地点検のポイント	・車線絞込みの位置及び方法

② 清水区入江地区の概要



【交通事故データ】: H25年1月～H27年12月 【ETC2.0挙動履歴データ】: H28年4月～5月 【ETC2.0走行履歴データ】: H28年4月

● 抜け道利用状況



集合場所

● 速度超過区間の状況



箇所	状況	現地点検のポイント
① 幹線道路から抜け道利用 する際の流入部	生活道路へ流入する抜け道利用の入口となっている	- 道路環境や抜け道利用状況の確認 - 入口対策の検討
② 事故・急ブレーキ・高速度地点	抜け道経路上における自動車の走行速度が高い区間の交差点で、出合頭事故や急ブレーキが発生	- 道路環境や利用状況の確認 - 生活道路内対策の検討

生活道路対策の概要

○交通安全対策により幹線道路と生活道路の使い分けを明確にして、安全な道路空間を実現

自動車交通を担う
幹線道路



歩行者中心の暮らしの道
生活道路

- ① 国道など幹線道路の整備・改良が進み生活道路を通過する自動車を幹線道路へ移行
- ② データを活用して危険な箇所を事前に把握し、対策を実施
- ③ 生活道路を自動車と歩行者の混在空間から歩行者中心の安全な空間へ

